

平成30年 2月 2日
<木曽川水系イタセンパラ保護協議会>
環境省中部地方環境事務所
国土交通省中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

お知らせ

参加者募集「イタセンパラの勉強会」

1. 概要

生物の保全に関心のある方を対象に「イタセンパラの勉強会」を開催します。

国の天然記念物「イタセンパラ」の飼育をしている「世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ」において、生物多様性の保全、木曽川でのイタセンパラの生態、木曽川での生息改善事業、氷見市での保全活動への取り組みを学び、天然記念物イタセンパラの保全について考えたいと思います。

現在、参加者を募集しておりますのでお知らせします。 <参加費無料>

2. 開催日時・場所・内容等

平成30年2月24日（土） 14:00～16:00

「世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ」 多目的ホール

各務原市川島笠田町 1453 tel: 0586-89-8200

内容、参加申込の詳細は、別紙概要書及び添付の参加者募集チラシをご参照下さい。
参加者募集チラシ・申込書は、中部地方整備局HP 記者発表資料（平成30年2月発表分）
（<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/2018/02.htm>）及び、中部環境事務所のHP
TOPICS（<http://chubu.env.go.jp/>）からもご覧いただけます。

3. 添付資料

- ・概要書：「イタセンパラの勉強会」について
- ・「第8回イタセンパラの勉強会」参加者募集チラシ、申込書

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮日刊記者会、羽島記者クラブ

5. その他

- ・当日の取材、撮影は自由ですが、講義中の撮影はご遠慮願います。
- ・希少種の詳細な生息地域等の情報、個人情報保護法に抵触するもの等については、原則非公開とさせていただきます。

6. 問い合わせ先

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課	企画官	進藤 博文	
	自然保護官	房村 拓矢	tel:052-955-2139
国土交通省 中部地方整備局 河川環境課	課長	小野 秀樹	
	補佐	吉田 光則	tel:052-953-8151

概要書

「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は国の天然記念物で、絶滅の恐れのあるコイ科の淡水魚です。日本では現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域にしか生息しておらず、個体数が減少傾向にあるなか、密漁などの人為的な圧力等もあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などにご理解いただき、連携した取り組みを進めていくことを目的として、毎年、「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第8回となる今年の勉強会では、環境省からイタセンパラを保全する背景となる生物多様性保全の話題や国土交通省から木曽川におけるイタセンパラの生息環境改善の話題についてお話しします。また、イタセンパラの保全活動に取り組んでいる世界淡水魚園水族館の池谷幸樹氏によるイタセンパラのお話や氷見市教育委員会の西尾正輝氏による富山平野（氷見市）での保全活動についてお話する予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」について、勉強できる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申し込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書（本資料の最終ページ掲載）により、応募してください。

< 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、H29.12.25 改正）の概要 >

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、有識者及び関係機関、地域住民が協働して密漁対策、希少種に関する啓発活動、希少種に関する環境教育、各主体による取り組みに係る意見交換などを進めることを目的に、下記の活動を行っております。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

有識者：伊藤 健吾（岐阜大学）、池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、上原 一彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）、北村 淳一（三重県 総合博物館）、久保 禎子（一宮市 尾西歴史民俗資料館）、永山 滋也（岐阜大学 流域圏科学研究センター）、森 誠一（岐阜経済大学 地域連携推進センター）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）

関係機関：文化庁記念物課、愛知県（自然環境課、生涯学習課）、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県（環境企画課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所

国内希少
野生動植物種
(種の保存法)

国の天然記念物
(文化財保護法)

絶滅危惧ⅠA類
(環境省のレッドリスト)

参加者募集
ぜひお申し込みください

第8回 イタセンパラの勉強会

開催日：平成30年2月24日(土) 14:00~16:00
(受付13:30~)

会場：世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ(多目的ホール)

- 内容：・「まもろう 日本の生きものたち ~生物多様性の保全と保護増殖~」
環境省中部地方環境事務所 進藤 博文 氏
- ・「イタセンパラってどんな魚 ~木曾川のようす~」
アクア・トトぎふ 池谷 幸樹 氏
- ・「希少魚が住む木曾川 ~生息環境改善事業~」
国土交通省木曾川上流河川事務所 野村 三奈 氏
- ・「地域住民によるイタセンパラを支える水管理 ~市民参加による保全活動の取り組み~」
氷見市教育委員会 西尾 正輝 氏
- ・「地域による活動報告」 木曾川高等学校

定員：50名(申込み多数の場合は抽選とさせていただきます)

参加費：無料(参加者は、勉強会後の水族館への入館料が20%引きとなります!)

※水族館の入場料の割引は、「イタセンパラの勉強会」への参加後に入場される方に限らせていただきます。

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴をお願いいたします。)

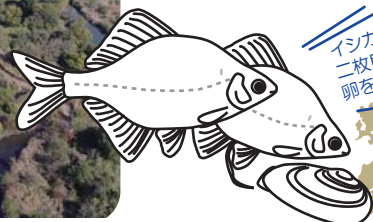
木曾川にすむ希少魚「イタセンパラ」ってどんな魚?



木曾川中流部のワンド群

イタセンパラ(コイ科タナゴ亜科)は、二枚貝に産卵する日本固有のタナゴ類の1種です。分布は濃尾平野を含む国内3地域に限られ、いずれの地域においても絶滅が危惧されており、国の天然記念物に指定されています。

かつては広く生息していたと考えられる濃尾平野の中でも、現在の確認箇所は、木曾川中流部のごく一部のワンドに限定されています。



イシガイなど二枚貝のなかに卵を産みます



生息地は世界で3か所だけ

※参加申込方法については、裏面をご覧ください。

主催：木曾川水系イタセンパラ保護協議会

【お問い合わせ先】

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課 (tel: 052-955-2139)

国土交通省 中部地方整備局 河川環境課 (tel: 052-953-8151)

FAX 送付先 052-218-0667

■ 申込方法及び申込先

- ①メールの場合は、
申込内容を記載し、件名を『イタセンパラの勉強会参加申込』として、
itasenpara@kensetsukankyo.co.jp まで送信してください。
- ②FAX の場合は、
この申込書に記入して、052-218-0667 まで FAX してください。
- ③はがきの場合は、返信用の宛先を記載した往復はがきに申込内容を記載し、
下記まで郵送してください。

〒460-0003 名古屋市中区錦 2-15-22

りそな名古屋ビル 7F (株)建設環境研究所
第 8 回イタセンパラの勉強会事務局 宛

参加申込内容

〆切 2月20日(火) 必着

連絡先 (代表者)
① 氏名
② 住所 : 〒
③ 電話番号 :
④ FAX 番号 :
⑤ Email アドレス :
⑥ 参加人数 : 人 名、小人 (中学生以下) 名
⑦ 水族館への入場希望の有無 : 有 無 (どちらかに○をつけてください)
⑧ イタセンパラ保護に関する取組みへのご意見 :

※参加申込に関わる個人情報、勉強会以外には使用いたしません。

■ 定員 : 50 名 (申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。)

※参加の可否は抽選とならない場合もメール、FAX でお知らせいたします。

■ その他 :

- ・勉強会会場の多目的ホールには無料でご入場いただけます。
- ・営業している水族館の展示スペースの観覧には別途入館料金が必要となります。
勉強会当日に水族館への入場も希望される方は、上記申込書の⑦欄、
有 に○をつけて下さい。通常料金の20%引でご入場いただけます*。

※水族館の入館料の割引は、「イタセンパラの勉強会」への参加後に入場される方に限らせて頂きます。